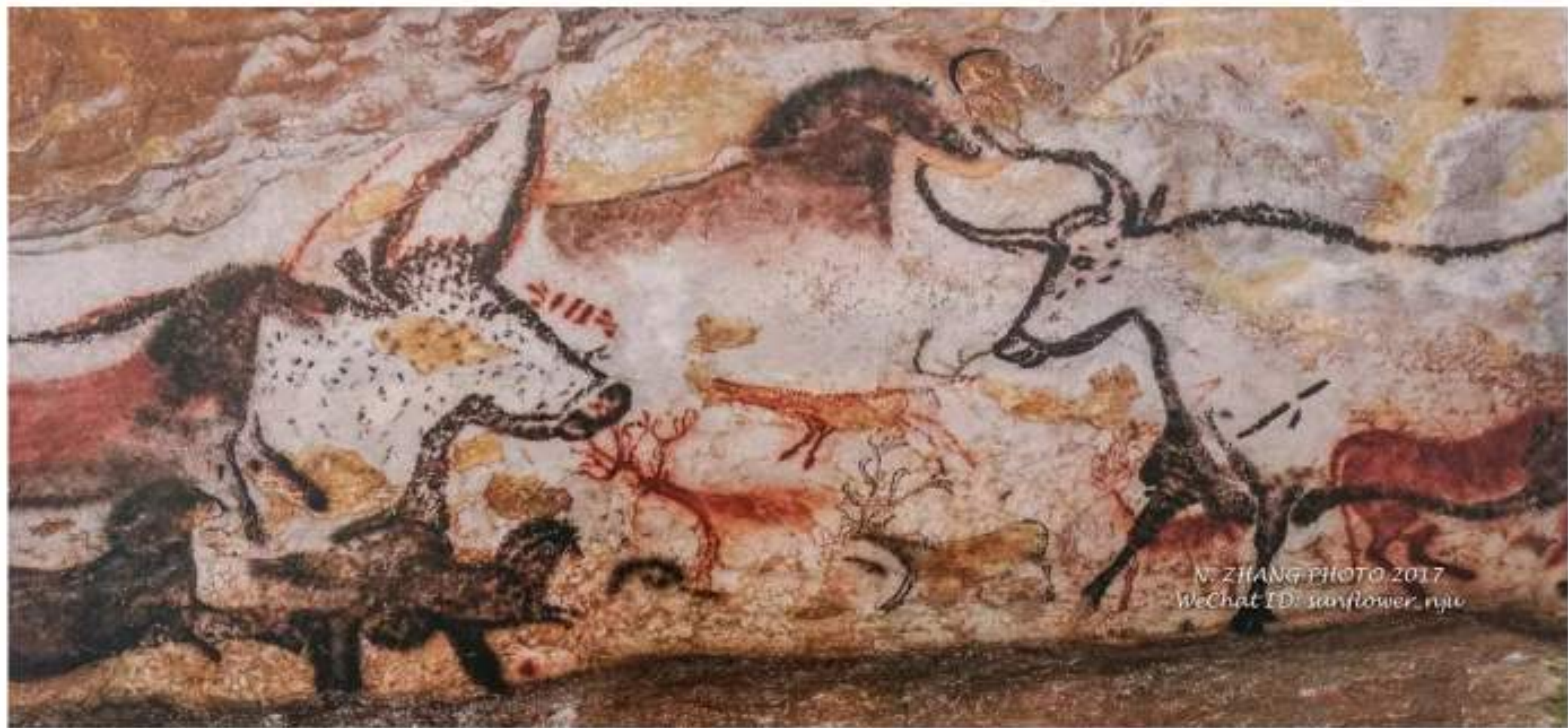


# 膠彩研習營

台灣藝術大學書畫藝術學系 張維元 助理教授

# 遠古時代的岩洞壁畫



位於法國南部《拉斯科岩洞壁畫》時代約在舊石器時代西元前15000~17000年左右



這麼多的顏色從哪來？





在埃及文明的廟堂殿宇中也能夠看到岩彩所製作的壁畫，距今已有5000多年的歷史依然色彩豔麗。





古希臘龐貝古城所留下的壁畫遺跡，約西元前60年。







在東漢時期佛教的東傳，使岩彩畫在中國魏晉時期開始有更多的發展，至唐代達到成熟。〈佛窟、佛寺、殿宇、墓室〉



中國青海省炳靈寺



# 敦煌莫高窟魏晉南北朝時期～元代佛教壁畫





# 唐章懷太子墓、永泰公主墓



唐·章懷太子墓 奏樂圖（局部）











藏傳佛教的唐卡壁畫





25 日本書紀卷之四十四 天武天皇十三年 乙未年 三月 乙未年 三月 乙未年 三月

24 日本書紀卷之四十四 天武天皇十三年 乙未年 三月 乙未年 三月 乙未年 三月

# 日本對於中國壁畫的傳承





20 西夏石窟艺术 第 1 卷 1982-1983 年第 2 期 第 22 页



21 西夏石窟艺术 第 1 卷 1982-1983 年第 2 期 第 22 页



22 西夏石窟艺术 第 1 卷 1982-1983 年第 2 期 第 22 页



# 韓國的岩彩（韓國畫）經典



百景圖 山水  
—1375  
年代 19世紀後半  
心齋堂藏  
Susa with the Sacred Stone  
in the 19th century

日月五諸神は、百景圖の神像(玉像)の後ろに置かれ、朝鮮王様を象徴する最も重要な衣裳であった。厚紙一面に描き広げられるあらゆる景観的な意味は、全て朝鮮王朝に於て(宇官論的な象徴主義であり、本作品の最も重要な部分である。興味深い点は、精緻に形式化された山岳画を背景に、宇宙の原型の構成を

をえてて持つ滝と風、天下で最も高いと言われる民間山上の左右に、白く白く(白地)をあらわしている。上部に描かれた日月(太陽)と月(月)と一対の相反する方は、均衡と平等を象徴する。厚紙の面に置かれた神像に王が宿居すると、均衡と調和の神像を占めることとなる。このように日月五諸神は統治者が天命を受け、世

日月五諸神が祀祀されていることが明らかであり、おそらく朝鮮王朝建国の際の王様建立を目的に制作されたものと推定される。

●朝鮮王朝の古物を模倣するもの(複製)本天(本天)を模倣に似し、その複製によって本天(本天)を模倣する思想。



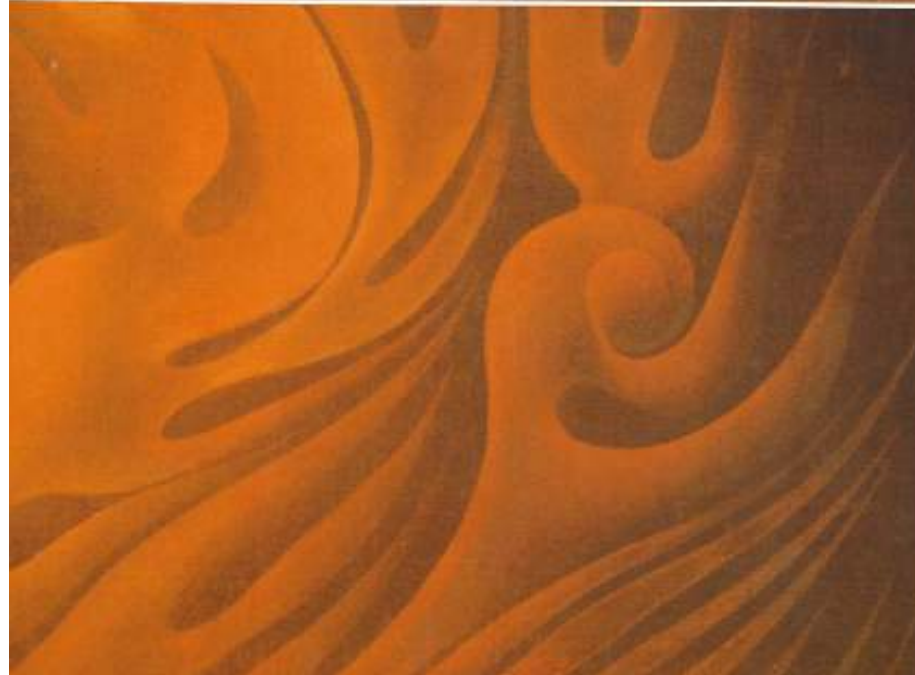
# 日本明治後的日本畫壇

- 岡倉天心先生培育了 橫山大觀、下村觀山、菱田春草





- 寫實、裝飾、  
象徵的調和



舞 (欣賞部分)  
大正14 (1925) 一冊 絹本彩色  
120.4×53.7 山陰美術館藏 畫大

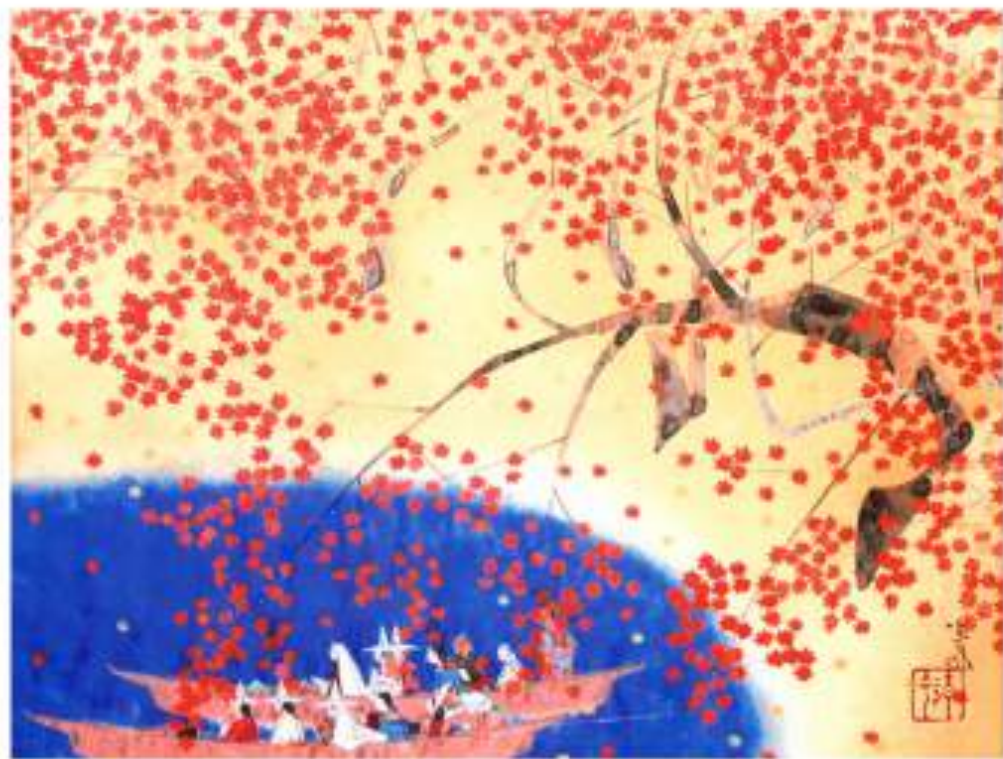


# 川合玉堂





# 前田青邨





# 竹内栖鳳





# 佳山又造







東山魁夷



# 平山郁夫





## 台展三少年 陳進、林玉山、郭雪湖

- 1927年日本政府想要介入美術展覽活動，自有其重要的政治意涵。台展由台灣教育會主辦，可以知道對殖民當局而言，展覽會是一種教育手段。文教局長石田英彥於第一屆台展前即著文提及：「為島民提供嗜好與鼓吹其興趣。」可以知道這是「提升」台灣人民水準品味的方式，更清楚的說，即是某種「同化」的方法。透過美術展覽會的舉辦，宣傳日本品味及日本審美觀念，是台灣人能「訓化」成能為母國所用之民，亦是向國際宣揚殖民地政績的一個重要方式。
- 展覽分為東洋畫部、西洋畫部兩個部門。





陳進（1907年11月2日－1998年3月27日）



林玉山 ( 1907年4月1日 - 2004年8月20日 )





郭雪湖 ( 1908年4月10日 - 2012年1月23日<sup>[1][2]</sup> )





林之助 ( 1917年2月2日 - 2008年2月13日 )  
· 台灣畫家 · 被稱為  
「台灣膠彩畫之父」









臨摹郭雪湖作品《圓山附近》